頭の鏡へ写るまじろぐじ 邯鄲の盧生が夢ハ五十年の栄花とえんハ唐人の寝言ハ内ど洒落なる 松岳山人
去年の冬ホンまもんの大三十日寄せる歎と口先で退ちしさる軍配ふホットつれて體挑ますく頼む
ゆめのふしぎさ満月画て咒豊年ふえ占けるべき我もく夢まれて今ハ於大酒でかくべ妙是ぞや夢すると
板行して往来くちのたからぶさをさふ出しておもうるなる人も佐んと👁とめて見ろへ申し殊外
さはぐろうの銭を拂ふかふもづくふも
さんなくめでたし狂言ふ壽ゝの神